

| 春季特別企画 |

2023. 3.18 (土) - 4.9 (日)

休館日=3月22日



.....ここからはじめる.....

あつまるあそぶプログラム

土日祝 [14:00-15:00]  
30分前受付

●ドットチャレンジ  
ドットをテーマにしたあそびに  
みんなでチャレンジします。

みんなであそぶプログラム

会期中毎日  
[10:00-16:00 (11:30-12:30はお休み)]  
「点」をテーマにしたあそびで  
子どもから大人まで一緒にあそびます。

- 土のドットタウン
- ハンティングワード点字
- テンテンテント
- 点を見てみよう など

○詳しくは、館内の当日案内をご覧ください。プログラムは予告なく変更することがあります。



線やカタチもすべては一つの「点」からはじまります。  
 点をたくさん並べてつなげていくと線になり、「点」があつまるとカタチになります。星空では、星の点々をつなげて星座になって、物語まで生まれていきます。  
 ほかに身近なところに「点」がひそんでいます。話をくぎる「句読点」や、「犬」「太」など漢字につく「点」、手で読み取る「点字」、地図のなかの「三角点」「水準点」。印刷された写真やテレビの画面も実はたくさんの色の「点」からできています。音も「点」です。一つ一つの音があつまって曲になり、音の点を組み合わせて意味を伝える「モース信号」にもなります。英語で「点」は「dot(ドット)」。いろいろなあそびが「dot・点」からはじまります。



2023. 3.18 (土) ..... 4.9 (日)

愛知県児童総合センター (愛・地球博記念公園内)  
開催時間: 10:00...16:00 (開館時間は9:00...17:00)  
休館日: 3月22日  
入場料: 中学生以下無料、その他300円  
主催: 愛知県児童総合センター (公益財団法人 愛知公園協会)

愛知県児童総合センター



〒480-1342  
愛知県長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1  
TEL 0561-63-1110  
E-mail info@acc-aichi.org  
https://www.acc-aichi.org/

開館時間 = 9:00 - 17:00  
入場料 = 中学生以下無料、その他 300円

3月の休館日 = 7、14、22日  
4月の休館日 = 11、18、25日  
5月の休館日 = 2、9、16、23、30日  
6月の休館日 = 6、13、20、27日

公共交通 地下鉄東山線「藤が丘」、愛知環状鉄道「八草」から 車で... 東名高速・日進JCT 経由名古屋瀬戸道路長久手ICから  
機関で... リニモ「愛・地球博記念公園」駅下車 足助方面すぐ (愛・地球博記念公園 北駐車場利用)

子どもとおとな、ドキドキ発見!

# ACC

Aichi Children's Center

# レター

News Letter vol.

2023 春

# 45

春季特別企画

「dot・点  
-ここからはじめる」

特集 |

アートとあそびと子どもをつなぐ  
メディアプログラム  
汗かくメディア

特集 |

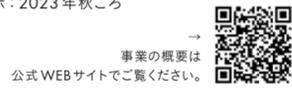
冬季特別企画  
「はかる -これくらいってどれくらい」

子育てのおはなし 第45話  
募集とお知らせ

# 汗かくメディア

募集期間：2023年1月13日(金)～3月12日(日)

公開展示：2023年秋ごろ



事業の概要は  
公式WEBサイトをご覧ください。

愛知県児童総合センターでは、あそびをとおした子どもたちの健全な育成を図る活動に「アート」を取り入れ、新しい視点と新鮮な気づきを促してきました。こうした活動の一環として、2007年から「汗かくメディア」というタイトルで全国からあそびの提案を公募する事業を実施し16年が経ちました。

当時、コンピューターやプロジェクターなどの新しいテクノロジーが急速に普及していく中、子どもたちをキーボードやディスプレイに貼り付けてしまうのではなく、身体や五感で体験し、新しい世界に主体的なあそびを創造していく場をつくること、そしてその場をとおして「アート」と「あそび」と「子ども」がつながり、さまざまな方たちが関わり合いながら、さらにおもしろい環境が生み出されることを期待し、あそびの公募を始めました。

2023年の現在、私たちの手のひらにあるスマートフォンでは、さまざまな体験が可能となり、デジタルコンテンツが身近な存在になっています。こうした社会と時代の変革期に愛知県児童総合センターでは、あらためて原点に立ち返ります。私たちや周りのモノやコトの間には、言葉や音、記憶、感触などを含め、あらゆる場面や時間にさまざまな「メディア」が介在しています。

今回の公募では、古くから認識していたメディアから最先端のテクノロジーも合わせて、子どもたちが自由に考え、工夫し、柔軟に反応し発展していく、誰も体験したことがない新しいあそびの提案に期待を寄せています。

あそび	ゆるやかなルール、自分と他者の関わりの中でお互いを認め受け入れる。 → 子どもの発達を手助け。自分自身の存在を確かめる。
アート	多様な視点、考え方の提案。新鮮で驚きのある表現方法の提示。 → 情操面の成長を促す。五感を解放する力。
あそび + アート =	五感を刺激し、多くの気づきを生むあそび

\*情操とは…感情や情緒、創造的で個性的な心の働き、道徳的な意識や価値観といった複雑な感情のこと。



NODE《けだまマン》



垂谷知明《きょくせんとちよくせん》



大久保拓弥《おふとんDJ》



塩谷佑典《うらにわには2わうらには2わにわとりがいる:3D》



SHIBATA Hidenori《ささえてハウス》



フジマツ《だれかのみた風景をみにいく》



コココ《モノトーク》



勝部里菜・内山俊朗《heartbeat plus》



身体企画ユニット ヨハク《超けんけんば》

## 冬季特別企画

# はがるか!

これくらいってどれくらい

長さ、重さ、温度などから心地よさ、運気持ちなどまで身近にある様々な道具や自分なりの基準で「はがる」あそびをたくさん用意しました。  
1つ1つは小さなあそびですが、たくさんの「はがる」を体験することで、日常の「モノ」や「コト」の新たな面や新しい気づきが生まれるきっかけになりました。



あそびの出発点。くじを引いて出た「あそびのカード」で遊びます。どのあそびをするかは運次第!



自分の手をかたどって切り取りみんなの手と繋げて飾ります。



おなじ重さ? 同じ重さだと思うものを選びます。



まめつくす 30秒間に何個、となりのお皿に移せるかはかります。



家族のサイズ 家族全員のあわせたサイズをはかります。



太陽時計 太陽時計のところに立って自分の影が何色かはかります。



音あわせ 見本の音と同じ音を探します。



せいくらべ 自分の背丈の位置にシールを貼ります。



ハカリバトル はがることをテーマに4つのあそび(重さ、距離、高さ、時間)をチーム対抗でチャレンジします。



令和4年度冬季特別企画として実施しました。

## 子育てのおはなし

臨床心理士  
後藤 かをり

第45話

### 赤ちゃん部屋のおぼけ

### 募集とお知らせ

#### お父さん応援プログラム「アナログカフェ」

毎月第3日曜日だけオープンする「アナログカフェ」は、お父さんと子どもがボードゲームやカードゲームなど、アナログなあそびを楽しむことができる空間です。その間、お母さんはのんびり館内で過ごしてください。

日時：毎月第3日曜日 13:30～15:30 随時参加  
場所：2階「大ホール」  
対象：小学生とその父親



このところ、いくつかの不適切な保育が話題になりました。もちろん許せないことであるし、子ども自身や親御さんの傷つきは大きいものでしょう。しかし、このようなことを聞くと、本当に育児というのは、人の心身のありようのすべてを揺り動かすものだなあとつくづく感じます。

「赤ちゃん部屋のおぼけ」という言葉があります。乳幼児精神医学者のフライバーグの言葉です。主にお母さんが赤ちゃんと二人きりであるときに、不意に襲われる不安、恐怖、イライラ、嫌悪感などを指します。

赤ちゃんが泣いて、何をしても泣き止まないとき、人は無力感に襲われます。それは、ずっと昔自分が小さいころに感じた無力感の再現かもしれません。子どもが泣いてすがってきたとき、

うっとうしくイライラするのは、自分が抱えてきた「見捨てないで」の思いのフラッシュバックかもしれません。自分がとても疲れていたりすると、なぜこんなに私を苦しめるの?とやり場のない怒りに支配され、弱い子どもにその気持ちが向かうこともないとは言えません。

事程左様に、子育ては人がその存在のすべてをかけることを要求してくるものだと思います。しんどかったり、苦しかったりするのは当たり前です。

心の傷の全くない人はいないと思います。それを弱い立場の子どもに向けてなくてもよいように、ぜひ誰か信頼できる人に話してください。パートナー、友だち、同僚…。保健センターや子育て支援センター、児童館の職員も使ってください。

#### 移動児童館・ゆめたま号

愛知県児童総合センターのあそびとスタッフを「ゆめたま号」に乗せて、県内の児童館などに運びます。現地のスタッフとともに地域の子ども・大人に向けてあそびのプログラムを実施します。令和5年度のスケジュールは4月ごろHPにてお知らせします。



せんのとりで



出張!子育てひろば「あのねっこのへや」



ゆめたま号

#### トコトコプログラム

「大人がたのしいと子どもはうれしい」を言葉に、小さな子どもとお母さんやお父さんが「一緒に」楽しむプログラムです。見る、触るなどの感覚的なあそびを中心に、いろいろなあそびを親子で体験します。

開催日：3/1(水)、3/8(水)、3/15(水)  
対象：1歳から3歳の未就園の子どもとその保護者  
定員：10組程度  
各回のプログラムの内容・時間・受付方法はHPをご確認ください。また、LINEでもお知らせを配信しています。



ヘンシンであそび



えのぐであそび

\*プログラムは予告なく変更・中止する場合があります。詳しくはHPをご覧ください。